

# 2025 年度 2 学年進路通信 Vol.7

関東第一高等学校

校長 乙幡和弘

監修 進路指導部

11 月 17 日(月)発行

Vol.6 では大学入学共通テスト(以下共テ)について記載しました。今号では共テを一次試験として活用する国公立大学と私立大学の一般選抜入試について記載しています。Vol.4～7 をしっかりと読みこんで、総合型選抜、公募制推薦、一般選抜のどの入試方式を活用して進路を選択するのか決めていき、少しずつ具体的な行動に落とし込んで進路実現を目指しましょう。

## ○国公立大学の入試スケジュール



(河合塾 HP より引用)

国公立大学の一般選抜は、共テが1次試験、2月下旬から実施される大学ごとの個別試験が2次試験となり、この2つの試験の合計で合否を決める方式が一般的です。2次試験は教科の試験の他に、小論文、面接、実技などを課す大学もあります。なかには2次試験を実施しない大学や、総合型選抜入試・公募制推薦入試であっても共テの得点を求める大学もあります。

国公立大学の出願期間は共テ受験後なので、共テの得点次第で志望校は変わってきます。**共テの得点が良かった場合、悪かった場合のパターンを想定して、事前に受験予定の大学を複数校は想定**しておきましょう。

## ○多くの国公立大学で総合型選抜・公募制推薦入試でも共テの得点を求められます

私大の推薦入試では多くの大学で共テの結果は関係ありません。しかし、国公立大学では推薦入試であっても多くの大学で共テの得点が求められます。難関国公立大学では「〇〇点以上の者を合格とする」といった足切りが設定されていることもあります。

## ・共テの得点を求められる総合型選抜・公募制推薦入試を実施している主な国公立大学

北海道大学、弘前大学、岩手大学、東北大学、宮城教育大学、秋田大学、筑波大学、埼玉大学、千葉大学、東京科学大学、東京農工大学、横浜国立大学、山梨大学、信州大学、富山大学、金沢大学、福井大学、名古屋大学、滋賀大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、岡山大学、広島大学、愛媛大学、九州大学など

最終合格者の判定にあたっては、大学入学共通テストの結果を利用し、**令和8(2026)年度大学入学共通テストで受験を要する教科・科目の得点の合計が、600点程度に達している者を最終合格者の対象として判定を行います。**

(北海道大学入試要項より引用)

## ○足切りについて

医学部を中心として、大学によっては2段階選抜を実施し、1次試験に該当する共通テストの成績において基準を超えていないと、次の2次試験に進むことができない仕組みが足切りです。

### (1) 第1次選抜

大学入学共通テストの成績により行う。

- ・人文社会学部、法学部、理学部、都市環境学部（都市政策科学科を除く。）及びシステムデザイン学部は、学科別に選抜を行い、その募集人員の約6倍を合格者数とする。
- ・経済経営学部及び都市環境学部 都市政策科学科は、入試区分別に選抜を行い、その募集人員の約6倍を合格者数とする。
- ・健康福祉学部は、学科別に選抜を行い、その募集人員の約5倍を合格者数とする。

### (2) 第2次選抜

**第1次選抜の合格者に対し、個別学力検査（第2次学力試験）を行う。**

(東京都立大学入試要項より引用)

## ・足切りがある主な国公立大学 ※2025 年度入試情報

北海道大学、東北大学、筑波大学、埼玉県立大学、千葉大学、千葉県立保健医療大学、お茶の水女子大学、電気通信大学、東京大学、東京科学大学、東京都立大学、一橋大学、川崎市立看護大学、横浜国立大学、静岡県立大学、愛知県立大学、京都大学、大阪大学、大阪公立大学、神戸大学、兵庫県立大学、九州大学など

## ○2次試験を実施せず、共通テストの結果のみで合格できる国公立大学

国公立大学の中には2次試験を課さず、私大と同じく**共テの結果のみで合格できる**国公立大学もあります。共テの自己採点後にボーダー付近の得点であれば、書類を出願するだけで合格できるので、出願を検討してみてもいいでしょう。

## ・2次試験を実施しない主な国公立大学(カッコは2025 年度の共テボーダー) ※2025 年度入試情報

旭川市立大学経済学部前期(56%)、小樽商科大学後期(76%)、北見工業大学前期(41～42%)、釧路公立大学前期(45%)、公立はこだて未来大学後期(63%)、青森公立大学後期(71%)、山形大学農学部後期(65%)、富山県立大学工学部後期(66～68%)、富山県立大学情報工学部後期(63～68%)、都留文科大学前期(71～79%)、山梨県立大学国際政策学部後期(77～79%)、愛知県立大学外国語学部後期(80～82%)、愛知県立大学日本文化学部後期(76%)、愛知県立大学教育福祉学部後期(75%)、京都府立大学農学食科学部後期(83%)、京都府立大学環境科学部後期(76%)、大阪公立大学経済学部後期(77～85%)、大阪公立大学商学部後期(88%)、大阪公立大学緑地環境科学科後期(82%)、兵庫県立大学環境人間学部後期(75%)、岡山県立大学栄養学科後期(69%)、高知工科大学経済・マネジメント学部後期(68%)、鹿児島大学理学部後期(70%)など

## 11 選考方法

大学入学共通テストおよび個別学力検査等により合格者を決定します。成績判定は、大学入学共通テストの成績を募集要項「13 試験科目及び配点」で示した方法で換算した上、個別学力検査の成績と総合して行います。なお、**前期日程では個別学力検査を課しません。**

(都留文科大学入試要項より引用)

○私立大学と同じく3科目で受験できる国公立大学

国公立大学の受験は、基本的には6教科8科目です。文系であれば英語・数学ⅠA・数学ⅡBC・国語・社会2科目・理科・情報、理系であれば英語・数学ⅠA・数学ⅡBC・国語・社会、理科2科目・情報です。

ですが、中には私大と同じく3科目で受験できる国公立大学もあります。国公立大学を目指したいけれども全科目満遍なく学習することが難しい、そのような悩みを抱えている受験生は、以下の大学を調べてみましょう。

・3科目で受験できる学科がある主な国公立大学 ※2025年度入試情報

釧路公立大学、青森公立大学後期(英数2科)、岩手県立大学社会福祉学部後期、秋田公立美術大学、国際教養大学、会津大学、筑波技術大学、群馬県立女子大学、高崎経済大学、お茶の水女子大学人文科学科後期、東京外国語大学後期、東京海洋大学海洋政策文化学科後期、東京都立大学法学部前期、神奈川県立保健福祉大学社会福祉学科、川崎市立看護大学看護学部前期、横浜国立大学B方式、新潟県立大学、富山大学経済学部後期、金沢大学、福井県立大学、都留文科大学、山梨県立大学、長野大学、長野県看護大学中期、長野県立大学、静岡県立大学国際関係学部前期、愛知県立大学外国語学部後期、滋賀大学経済学部、滋賀県立大学人間文化学部後期、京都府立大学文学部後期、福知山公立大学地域経営学部前期、奈良県立大学、和歌山大学経済学部後期、公立鳥取環境大学、鳥取大学後期、島根県立大学国際関係学部後期、岡山県立大学、新見公立大学、県立広島大学人間福祉学コース後期、広島市立大学、下関市立大学経済学部B方式、周南公立大学、山口県立大学、愛媛大学、高知大学、高知県立大学、高知工科大学、北九州市立大学、宮崎公立大学、鹿屋体育大学、名桜大学など

法学部 法学科 (前期日程試験)		配点計1,060点
大学入学共通テスト		配点600点
新教育課程履修者が選択可能な出題科目		
国 語	『国語』	200
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』	から1科目選択*
数 学 ①	『数学Ⅰ、数学A』	
数 学 ②	『数学Ⅱ、数学B、数学C』	
外 国 語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』	200 〔英語〕配点内訳 リーディング 160 リスニング 40
個別学力検査 (第2次学力試験)		配点450点
英 語	『英語』	150
国 語	『国語』	150
地理歴史	『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』	から1科目選択
数 学	『数学Ⅰ、数学A、数学Ⅱ、数学B、数学C』	
調査書等		配点10点

※指定した科目数を超過して受験した場合は、地理歴史・公民の第1解答科目と数学から得点の高い科目を採用する。

(東京都立大学入試要項より引用)

○私立大学の一般選抜入試

私大の一般入試は、国公立大学とは異なり、基本的に3教科で受験できます。文系であれば英国社、理系であれば英数理の受験科目を基本とし、英国数や英国、英数、英のみといった受験方式を採用している大学もあります。

Ⅰ一般選抜(個別学部日程)

方式	募集人員	テスト区分	教科	科目(出題範囲)	試験時間	配点
A方式	約180名	独自問題	外国語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	90分	150点
			地理歴史または公民	『世界史探究』、『日本史探究』、『政治・経済』のうち1科目選択	60分	100点
B方式	約100名	独自問題	外国語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	90分	150点
			数学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B、数学C(ベクトル)	90分	150点

Ⅱ一般選抜(全学部日程)

募集人員	テスト区分	教科	科目	試験時間	配点
約30名	独自問題	外国語	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ、英語コミュニケーションⅢ、論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、論理・表現Ⅲ	80分	150点
		国語	現代の国語、言語文化(古文、漢文を除く)	70分	100点
		地理歴史または公民または数学	『世界史探究』、『日本史探究』、『政治・経済』、『数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A(図形の性質、場合の数と確率)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)』のうち1科目選択	60分	100点

(青山学院大学入試要項より引用)

○全学部入試と個別入試

全学部入試は一度の試験で複数学部もしくは全学部を併願できる入試制度です。併願するための費用はかかるものの、併願割引制度も活用すれば比較的安価に受験費用をおさえられ、1日の試験で複数学科の合格を得ることもできます。しかし、全学部入試は個別入試と比べると定員が少なく、倍率も高くなりがちです。全学部入試では合格しやすい学部学科を併願して進学先を確保し、個別入試で志望度の高い学部の合格を狙う、といった戦略がベターです。

▶①全学部統一日程選抜(同一配点型)

学部	学科(専攻)	募集人員 注2	前年度 合格者数 注3	試験日	合格発表日
文学部	仏教学部 注1	25人	145人	2月4日(水)	2月12日(水)
	国文学科	12人	58人		
	英米文学科	15人	126人		
	地理学科	地域文化研究専攻	10人		
		地域環境研究専攻	10人		
	歴史学科	日本史学専攻	14人		
		外国史学専攻	11人		
	考古学専攻	考古学専攻	5人		
		社会学専攻	13人		
	社会学科	社会学専攻	10人		
経済学部 注5	経済学科	37人	210人	2月4日(水)	2月12日(水)
	商学科	26人	163人		
	現代応用経済学科	15人	91人		
法学部 注5	法律学科フレックスA	30人	132人	2月4日(水)	2月12日(水)
	法律学科フレックスB	15人	58人		
	政治学科	15人	66人		
経営学部	経営学科	30人	209人	2月4日(水)	2月12日(水)
	市場戦略学科	15人	83人		
グローバル・メディア・スタディーズ学部	グローバル・メディア・スタディーズ学科	22人	82人	2月4日(水)	2月12日(水)

▶②T方式(同一配点型)〈他方式との併願可能〉

学部	学科（専攻）	募集人員 注3	前年度 合格者数 注4	試験日	合格発表日	出願期間			
文学部	仏教学部 注2	43人	105人	2月6日(金)	2月15日(日)	ネット出願 <入力> 2026年 1月5日(月) 1月23日(金) 15時までに 登録完了 させること <必要書類郵送> 2026年 1月5日(月) 1月23日(金) 消印有効			
	国文学科	66人	153人	2月7日(土)	2月18日(水)				
	英米文学科	40人	97人	2月8日(日)	2月18日(水)				
	地理学科	地域文化研究専攻	36人	2月6日(金)	2月15日(日)				
		地域環境研究専攻	38人						
	歴史学科	日本史学専攻	43人	2月8日(日)	2月18日(水)				
		外国史学専攻	32人						
	考古学専攻	考古学専攻	19人	2月8日(日)	2月18日(水)				
	社会学専攻	社会学専攻	29人						
	社会学科	社会学専攻	54人	103人	2月5日(木)		2月15日(日)		
経済学部 注5	心理学科	48人	151人	2月5日(木)	2月15日(日)				
	経済学科	143人	339人	2月6日(金)			2月18日(水)		
	商学科	92人	416人	2月5日(木)	2月18日(水)				
現代応用経済学科	53人	120人	2月7日(土)	2月18日(水)					
法学部 注5	法律学科フレックスA	121人	418人				2月5日(木)	2月15日(日)	
	法律学科フレックスB	25人	52人	2月6日(金)	2月15日(日)				
	政治学科	72人	200人						
経営学部	経営学科	145人	356人	2月7日(土)	2月18日(水)		2月18日(水)		
	市場戦略学科	81人	170人	2月8日(日)	2月18日(水)				

(駒澤大学入試要項より引用)

○得意科目を活かそう！

3科目とも好成绩であることが理想ですが、現実にはなかなかそうもいかない受験生も多くいます。しかし、1科目でも得意科目があれば、その得意科目を活かした配点を設定している大学を受験する、という手段もあります。この科目だけは誰にも負けず、そのような状態を作ることでも合格可能性を高めることはできます。

例えば、入試難易度の高い大学ほど英語の配点が高くなります。そのため、英語が得意科目であれば配点が高い分、合格可能性も高まります。しかし、英語が得意な生徒は英検利用入試では不利に働く場合があります。英検利用によって英語の成績は換算得点となり、得意な英語で差を付けられず、他の科目で差を広げられてしまう可能性があるため、英語が得意な生徒は英検利用を実施していない入試で勝負するのがよいでしょう。

・英語が得意で英検換算が不利となった実際の受験生の受験例(英 51.6 国 49.4 日 49.5 英検2級あり)

大学(河合塾合格可能性50%偏差値)	入試方式	英検利用特典	結果
専修大学マーケティング学科(52.5)	全国入試	無	合格
専修大学法律学科(50)	全国入試	無	合格
専修大学マーケティング学科(52.5)	前期	8割換算	不合格
専修大学マーケティング学科(50)	前期AS(共用併用)	8割換算	不合格
専修大学マーケティング学科(52.5)	D方式(国語重視)	8割換算	不合格

英検利用の無い入試方式では合格できましたが、英検利用がある入試方式では8割以上をとらないと得意な英語でのアドバンテージがありません。得意科目がある場合は、得意科目を活かした入試に臨みましょう。

・得意科目を活かした入試方式がある主な大学

國學院大學(上位1科目を2倍に換算)、駒澤大学(指定科目を2倍に換算)、産業能率大学(上位2科目判定)など